

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校教育総務運営事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	03	01	02
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校生徒・教職員	意図	中学校における計画的・効率的な学校運営、事務の執行を図る。
事業内容	学校事務員等臨時職員を任用し、学校事務及び用務を行う。また、需用費、役務費等予算を学校配当し、計画的・効率的な学校運営、事務の執行を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	需用費、役務費等予算の学校配当については、生徒数、学級数及び教職員数に応じて毎年各学校に配当している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果	学校環境を良好に維持するとともに、学校教育の円滑な運営に大きく貢献している。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 学校事務員等臨時職員を配置し、また需用費、役務費等予算を学校配当しており、中学校における計画的・効率的な学校運営が行われている。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		47,724,528	47,874,714	48,143,454			
事業費(b)(円)		43,336,068	45,519,684	45,465,504			
うち一般財源		43,336,068	45,519,684	45,465,504			
職員給与費(c)(円)		4,388,460	2,355,030	2,677,950			
人役・職員(人)		0.59	0.29	0.34			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.14	0.30	0.30			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	財務規則に従い、予算の執行が適正かつ効率的に行われるように努める。	取り組みの課題	伝票処理等を行う学校事務員は、予算の削減により任用時間及び期間が短縮されている。
今年度(H26)に実施した取り組み	学校配当予算を児童数、学級数等の規模に応じて配当しており、予算の執行に当たっては、伝票処理による予算執行の手順等を記載した手引書を作成し配布した。また、学校用務員の連絡協議会を開催した。	今後の改善計画	財務規則等に従い、今後も予算執行が適正かつ効率的に行われるように努める。